

[PRESS RELEASE]

2011年9月9日
東京大学医学部附属病院

血管の世界を、覗いてみませんか？
－「健康と医学の博物館」 9月15日より第二回企画展「血管のひみつ」開催－

東京大学医学部・医学部附属病院「健康と医学の博物館」では、9月15日から第二回企画展「血管のひみつ」を開催します。今回は、循環系、とりわけ血管に関する知識や最新の知見、それにまつわる医療の現場を紹介します。血管に関する認識の移り変わりから最新の知見、古文書から3D映像、実際の医療機器まで、多種多様な展示で企画展を構成しています。

また第二回企画展にあわせて、循環器内科教授 永井良三による講演会「血管と炎症から医学の歴史をたどる」を開催します。

「健康と医学の博物館」は、本年1月20日に開館いたしました。6月30日をもって終了した第一回企画展「感染症への挑戦」には、8000人を超える方々にご来館いただきました。節電のため夏季は休館しましたが、9月15日より第二回の企画展「血管のひみつ」を開催します。

今回は循環系、とりわけ血管に関する知識や最新の知見、それにまつわる医療の現場を紹介します。当館の来館者アンケートによると、日本人の死因統計でも上位に入るような身近な疾患への関心の高さがうかがわれ、血管に関連する病気では、心筋梗塞、脳梗塞、大動脈瘤といった病名の記入が目立ちました。一方で、疾患に対して過度に関心が寄せられているという印象も拭えません。

病気を恐れる気持ちは誰しもあると思いますが、一方で病気について正しく理解をすることも重要です。そこで今回の展示では、病気が起きている「血管」についての理解を深めていただくことを目的としています。血管と心臓にフォーカスを当て、その血液循環系としての構造、血圧制御に関わる機能、関連する疾患の病態と診断・治療、最新の研究を紹介します。血管に関する認識の移り変わりから最新の知見、古文書から3D映像、実際の医療機器まで、多種多様な展示で企画展を構成しています。

常設展では150余年にわたる医学部・医学部附属病院の業績、歴史の中で、特筆されるものを中心に紹介します。初期の時代にドイツ人教師によってもたらされた医学書や医療器具を展示し、人工癌などの世界的な業績を紹介します。研究室紹介のコーナーでは、日本最古の「衛生学教室」の流れをくむ分子予防医学教室を取り上げ、歴史と現在の研究を紹介します。

【企画展 開催概要】

第二回企画展「血管のひみつ」

開催期間：9月15日（木）～1月31日（火）

開館時間：10時～17時

休館日：毎週月曜日、年末年始（12月28日～1月4日）。ただし月曜が祝日の場合は開館。

入場料：無料

なお、第二回企画展の開催に併せ、医学部附属病院 循環器内科教授 永井良三による講演会「血管と炎症から医学の歴史をたどる」を開催いたします。

【記念イベント 開催概要】※詳細は別添のチラシをご参照ください。

第二回企画展「血管のひみつ」スタート記念イベント

第一部 講演会「血管と炎症から医学の歴史をたどる」

医学部附属病院 循環器内科教授 永井良三

第二部 企画展「血管のひみつ」観覧

日程：2011年9月30日（金）16:30～18:30

場所：医学部総合中央館内「健康と医学の博物館」（チラシ参照）

対象：大人/抽選で50名様

参加費：無料

応募方法：「血管のひみつイベント参加希望」の旨と、郵便番号・住所・氏名・電話番号をご記入の上、はがき・FAX・メールにてお申し込み下さい。抽選結果の発表は、当選はがきの発送をもってかえさせていただきます。締め切りは9月20日（火）（当日消印有効）です。

<応募先>

はがき：〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1 「健康と医学の博物館」宛

FAX：03-5841-0814

メール：mhm@m.u-tokyo.ac.jp

【添付資料】

健康と医学の博物館 第二回企画展「血管のひみつ」スタート記念イベント チラシ

<<本件に関するお問合せ先>>

東京大学医学部・医学部附属病院 健康と医学の博物館

電話：03-5841-0813（直通）

FAX：03-5841-0814

E-mail：mhm@m.u-tokyo.ac.jp

URL：http://mhm.m.u-tokyo.ac.jp/
